

平成 27 年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業
「定期巡回・随時対応型訪問介護看護の実態と
効率的なサービス提供のあり方に関する調査研究事業」

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の実態と効率的な サービス提供のあり方に関する調査アンケートのお願い

◎ 本調査研究事業について

本調査研究事業は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の実態を調査し、効率的なサービスの提供のあり方について検討し、課題を明確化することを目的としています。

今回は、全国の定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス事業者の皆様を対象として、現状の実態や課題についてお伺いするものです。

ご多忙とは存じますが、当調査へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

◎ ご回答にあたっての留意点

◇ご回答いただいた結果は、当研究会にて集計・分析を行い、報告書として取りまとめ、調査票は統計分析にのみ使用し、個別の事業者名、個人のお名前が公開されることはありません。また、この調査は任意のご協力をお願いするものであって、協力いただかなくても、貴事業所が不利益を蒙ることはありません。

◇本調査票は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を実施している事業者を対象とした調査です。貴事業者の経営に関わる方、または管理者の方にご回答いただくようお願いいたします。

◇調査票は、質問票と回答用紙を兼ねておりますので、ご回答は直接回答用紙にご記入ください。

◇ことわりのある場合を除き、平成 27 年 10 月 31 日現在の状況をご回答ください。

◇ご回答後、同封の返信用封筒に封入・封緘のうえ、平成 27 年 12 月 10 日（消印有効）までに投函ください。

調査票についてのお問合せ先

一般社団法人 24 時間在宅ケア研究会 事務局

「平成 27 年度老健事業担当」 担当者 : [REDACTED]

所在地 : 〒162-0045 東京都新宿区馬場下町 1-1 早稲田 SIA ビル 5F

TEL : [REDACTED] FAX : [REDACTED]

E-Mail : [REDACTED]

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の実態と
効率的なサービス提供のあり方に関するアンケート調査

以下の質問について、該当する数字に○、または、() 内に数字や内容を記入下さい。

I. 回答者ご自身について伺います (平成 27 年 11 月現在)

質問	回答欄
(1) 貴事業所名	
(2) 貴法人名	
(3) 役 職	
(4) お名前	
(5) 連絡先 電話 E-mail	
(6) 所在地	(都・道・府・県) (区・市・町・村)

II. 平成 27 年 10 月末時点の貴事業所 (定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所) の概要および状況について伺います。

1. 貴定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の法人概要について伺います。

質問	回答欄				
(7) 貴事業所の法人の種別 (ひとつに○)	1. 社会福祉法人 2. 医療法人 3. 株式会社等 4. 特定非営利活動法人 5. その他 ()				
(8) 以下の(A)(B)(C)の設問にお答えください	(該当する欄に○を記入し、人数を記入してください)	(A) 法人 提供	(B) 併設 サービ ス	(C) 24 時間対応状況、 及び利用者数	
	＜居宅サービス＞				
	設問(A) 貴法人が提供しているサービスに○をつけてください (複数回答可)	1. 訪問介護			() 人
		2. 訪問入浴			
		3. 訪問看護			() 人
		4. 訪問リハビリ			
	設問(B) (A)で○を付けたサービスを提供している事業所、施設が、貴事業所と併設*している場合は、そのサービスに○をつけてください	5. 通所介護			
		6. 通所リハビリ			
		7. 短期入所生活 (療養) 介護			
		8. 特定施設入居者生活介護			
		9. 福祉用具貸与・販売			
		10. 居宅介護支援			
	＜地域密着型サービス＞				
		11. 夜間対応型訪問介護			() 人
		12. 認知症対応型通所介護			
	13. 小規模多機能型居宅介護				
	14. 認知症対応型共同生活介護				

*併設 : 同一建物、同一敷地内もしくは隣接する敷地内とします

設問(C) (B)で「訪問介護」「訪問看護」「夜間対応型訪問介護」に○をつけた方にお聞きします 各々24時間対応しているサービスに○をつけてください。また利用者数もご記入ください	(該当する欄に○を記入し、人数を記入してください)	(A) 法人 提供	(B) 併設 サービス	(C) 24時間対応状況、 及び利用者数
	15. 地域密着型特定施設入居者生活介護			
	16. 地域密着型老人福祉施設			
	17. 看護小規模多機能型居宅介護			
	<施設サービス>			
	18. 介護老人福祉施設			
	19. 介護老人保健施設			
	20. 介護療養型医療施設			
	<その他>			
	21. サービス付き高齢者向け住宅			
	22. 有料老人ホーム			
	23. 養護老人ホームおよび軽費老人ホーム			
	<医療サービス>			
	24. 病院			
	25. 診療所（在宅療養支援診療所）			
26. 診療所（25. 以外）				

2. 貴定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の概要について伺います。

質問		回答欄
(9)	開設年月日	平成（ ）年（ ）月（ ）日 開設
(10)	サービス提供類型 (ひとつに○)	1. 介護・看護一体型 2. 介護・看護連携型 3. 一体型かつ連携型
(11)	訪問介護サービスの 他事業所への委託状況 (ひとつに○)	◇ 委託していない 1. 今後委託することを考えている 2. 今後も委託については考えていない ◇ 委託している 3. 自法人(グループ法人含む)の訪問介護事業所に委託している 4. 他法人の訪問介護事業所に委託している 5. 自法人および他法人の訪問介護事業所に委託している
(12)	(11)で「3」、「4」または 「5」を選択した方にお伺 いします 委託している内容 (複数回答可)	1. 日中（8:00-20:00）の定期訪問を委託している 2. 日中以外（夜間・深夜・早朝）の定期訪問を委託している 3. 日中（8:00-20:00）の随時訪問を委託している 4. 日中以外（夜間・深夜・早朝）の随時訪問を委託している 5. 一部のエリアを限定して委託している 6. 一部の業務内容（身体介護・生活援助・外出介助など）に限定して委託している 7. その他（ ）

3. 貴事業所（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）の職員数について伺います。
（平成 27 年 10 月末時点）

質問		回答欄
(13)	(13)-1 事業所の常勤職員数 * 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に関わる常勤職員の方が対象です	() 人
	(13)-2 事業所の職員の常勤換算数（常勤・非常勤の合算） * 定期巡回・随時対応型訪問介護看護だけに関わる業務時間が対象です	() 人
	(13)-3 オペレーターの資格要件を満たす職員数（常勤・非常勤の実人数）	() 人

4. 貴事業所の利用者について伺います。（平成 27 年 10 月末現在）

質問	回答欄					
	合計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
(14) 要介護度別利用者数	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人
(15) (14)の内、併設の集合住宅 * ¹ に居住の利用者数（減算対象）	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人
(16) (14)の内、併設でない集合住宅* ² に居住の利用者数 （非減算対象）	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人
(16)-1 (16)の対象となる住宅の棟数	() 棟					
<p>*¹ 併設の集合住宅：事業所と同一建物、同一敷地内又は隣接する敷地内に所在する建物（養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に限る）</p> <p>*² 併設でない集合住宅：*¹の併設基準以外の集合住宅（養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に限る）</p>						
(17) 利用者の世帯状況	単身世帯	高齢者のみ世帯	その他の同居世帯	不 明		
	() 人	() 人	() 人	() 人		
(18) 貴事業所としての採算ラインと考える利用者数	1. () 人		2. 設定していない			
(18)-1 貴事業所の想定する平均要介護度	要介護 ()					
(19) 医師の指示書に基づく訪問看護利用者	訪問看護サービス利用者数（介護保険）			() 人		
	訪問看護サービス利用者数（医療保険）			() 人		
(20) 直近 1 年間の看取りケア総件数（H26 年 11 月～H27 年 10 月）	() 人					
(21) 直近 1 年間の定期巡回・随時対応型訪問介護看護の総利用者数（実人数） （H26 年 11 月～H27 年 10 月）	() 人					

5. 他事業所等との連携について伺います

質問		回答欄	
(22)	他法人の居宅介護支援事業所との連携状況	(22)-1 連携する他法人の居宅介護支援事業所数	() ヶ所
		(22)-2 他法人の居宅介護支援事業所が給付管理している利用者人数	() 人
(23)	（連携型事業所の方に伺います） 医師の指示書に基づいて連携する訪問看護事業所（介護保険）の状況	(23)-1 連携する訪問看護事業所（貴法人）	() ヶ所
		(23)-2 連携する訪問看護事業所（他法人）	() ヶ所
		利用人数	(23)-3 貴法人 () 人 (23)-4 外部 () 人

(24)	(連携型事業所の方に伺います) 定期的なアセスメントについて連携する訪問看護事業所数	()ヶ所
(25)	(一体型事業所の方に伺います) 訪問看護の一部委託をしている事業所数	()ヶ所

6. 利用者の確保やニーズについて伺います

質問		回答欄	
(26)	申込前（定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用開始前）の利用者の状況 （平成27年10月サービス利用者） *訪問介護、夜間対応型訪問介護の両サービスを受けている利用者については、重複して人数をカウントしてください	1. 在宅で介護サービスを受けていない	()人
		2. 施設に入所（退所後に利用開始）	()人
		3. 入院（退院後に利用開始）	()人
		4. 訪問介護利用	()人
		5. 夜間対応型訪問介護利用	()人
		6. 小規模多機能型居宅介護利用	()人
		7. その他（ ）	()人
(27)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用開始したきっかけ（利用に際し、最初に紹介、相談、提案等があった個人や機関） （平成27年10月サービス利用者）	1. 本人および家族の希望	()人
		2. ケアマネジャーからの提案	()人
		3. 医療機関からの紹介	()人
		4. 地域包括支援センターからの紹介	()人
		5. 介護老人保健施設からの紹介	()人
		6. 行政からの意見	()人
		7. その他（ ）	()人
(28)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの終了・中止の理由毎の延べ人数を伺います （平成26年11月～平成27年10月の1年間） *中止や移行を繰り返した利用者については、重複して人数をカウントしてください	1. 死亡	()人
		2. 入院・入所	()人
		3. 訪問介護へ移行	()人
		4. 夜間対応型訪問介護へ移行	()人
		5. その他のサービスへ移行	()人
		6. その他（ ）	()人

7. サービス提供回数について伺います。（提供していない項目には「0」と記入してください） （平成27年10月分実績）

質問	回答欄					
	合計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
(29) 定期訪問延べ回数（介護）	()回	()回	()回	()回	()回	()回
(29)-1 上記の内、併設集合住宅*3に居住の利用者への訪問	()回	()回	()回	()回	()回	()回
(30) 利用者からのコール件数	()回	()回	()回	()回	()回	()回
(30)-1 上記の内、併設集合住宅*3に居住の利用者からのコール件数	()回	()回	()回	()回	()回	()回

(31)	随時訪問延べ回数	() 回	() 回	() 回	() 回	() 回	() 回
(31)-1	上記の内、併設集合住宅*3に居住の利用者への訪問	() 回	() 回	() 回	() 回	() 回	() 回
*3併設集合住宅：事業所と同一建物、同一敷地内又は隣接する敷地内に所在する建物（養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に限る）で報酬の減算対象となる住宅を指します							

8. 貴事業所の定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利益状況について伺います

(32)	平成27年10月分*3の事業所の売上高に対する営業利益率*4はどのくらいですか（ひとつに○）
	1. 5%以上 2. 0%以上5%未満 3. 0%未満
	*4平成27年10月の営業利益率が不明の場合には可能な直近月で算出 → () 月
	*5訪問介護等、他の事業を併設して運営している場合での案分割合等、利益算出方法については、貴法人のルールに則った利益率を対象にしてください

9. 総合マネジメント体制強化加算について伺います

質問		回答欄
(33)	貴事業所における総合マネジメント体制強化加算の算定状況	1. 算定している 2. 算定していない
(34)	(33)で「1」と答えた方に伺います 算定したことにより負担が増加したことがあればお答えください	()
(35)	(33)で「2」と答えた方に伺います 算定していない理由をお答えください	()

Ⅲ. 定期巡回に関する内容について伺います。

1. 貴事業所が提供している定期巡回サービスの内容（訪問看護を除く）について伺います

質問	回答欄		
	(36)-1 サービス提供の有無	(36)-2 代替となる保険外サービス利用の有無	(36)-3 代替したいが利用していない保険外サービス
(36) (36)-1 平成27年10月に貴事業所が定期巡回において提供したサービスについて、右のサービス項目の(36-1)欄に○をつけてください（複数回答可） (36)-2 右のサービス項目で、地域に代替となる保険外サービスがある場合に、それら保険外サービス等が利用されている事例があれば、(36-2)欄に○をつけてください（複数回答可）	1. 起床・就寝介助		
	2. 洗面等身体整容		
	3. 食事介助		
	4. 排泄介助		
	5. 更衣介助		
	6. 入浴・清拭介助		
	7. 体位交換		
	8. 移動・移乗介助		
	9. 通院・外出介助		
	10. 上記以外の身体介助		
	11. 調理		
	12. 配膳・下膳		

	(36)-3 右のサービス項目で、代替したい 保険外サービスが地域にあるが、 何らかの理由で利用していない 事例があれば、(36-3) 欄に○をつ けてください (複数回答可)	13. 服薬確認			
		14. 掃除			
		15. 買い物			
		16. 洗濯			
		17. ベッドメイク			
		18. ゴミ出し			
		19. 見守り・安否確認			
		20. 上記以外の生活援助			
(37)	(36)-2 のいずれかに○を付けた方に伺います サービスを代替している理由をお答えください				
(38)	(36)-3 のいずれかに○を付けた方に伺います 代替したいサービスがあるのに使えない理由をお答えくださ い				
(39)	長時間におよぶサービスや生活支援的なサービスの実施につ いて、課題・要望等があればお聞かせください				

2. 個別サービスの計画および見直しについて伺います。

質問		回答欄
(40)	サービス導入直後の個別 サービス計画の見直しの タイミングは概ねどのく らいですか (ひとつに○)	1. 初回サービスから 1 週間以内 2. 初回サービスから 1 週間以上 1 か月以内 3. 初回サービスから 1 か月以上 4. その他 ()
(41)	ケアマネジャーと連携す る中で課題を感じますか	1. 感じる 2. まあ感じる 3. あまり感じない 4. 感じない
(41) -1	(41)で 1. または 2. と答え た方に伺います 課題と感ずる内容はどの ようなものですか (複数回答可)	1. ケアマネジャーと計画作成責任者との役割分担 (計画作成責任者による定期巡 回等計画におけるサービス提供時間・回数・具体的内容の決定) について理解 が得られない 2. サービス利用開始後にサービス提供時間・回数・具体的内容を変更する際の調 整に時間がかかる 3. アセスメントやモニタリング結果の情報が共有しにくい 4. その他 ()

IV. 随時対応、随時訪問に関する内容について伺います。

1. 通報を受ける体制について伺います

質問		回答欄
(42)	利用者から通報を受ける 体制について (ひとつに○)	1. コールセンター等に通信機器を固定設置し、通報を受けている 2. 1. の体制を整え、かつモバイル機器 (携帯電話等) にて通報を受けている 3. コールセンター等は設置せず、専らモバイル機器等にて通報を受けている 4. その他 ()
(43)	オペレーターの集約状況 (ひとつに○)	1. 法人内の複数の指定事業所で集約している 2. 他の法人の指定事業所と集約している 3. 集約はしていない

(44)	コールセンターが定期巡回・随時対応サービスの利用者以外の者からの通報を受け付ける業務の実施状況（複数回答可）	1. 利用者以外からの通報を受け付ける業務は行っていない 2. 市町村が行う地域支援事業の任意事業における通報受信事業 3. 併設する夜間対応型訪問介護の通報を受けている 4. その他（ ）
------	--	--

2. オペレーターの兼務状況について伺います

質問		回答欄
(45)	夜間のオペレーターの兼務状況（複数回答可）	1. 事業所内で随時訪問介護員を兼務している 2. 事業所内で定期訪問介護員を兼務している 3. 併設（敷地内含む）する他の施設等の職員がオペレーターを兼務している 4. 兼務はしていない 5. 集約しているためオペレーターはいない
(46)	(45)で「3」に○をつけた方に伺います 夜間のオペレーターの兼務先（複数回答可）	1. 短期入所生活（含 療養）介護 2. 特定施設（含 地域密着型） 3. 小規模多機能型居宅介護 4. 看護小規模多機能型居宅介護 5. 認知症対応型共同生活介護 6. 介護老人福祉施設（含 地域密着） 7. 介護老人保健施設 8. 介護療養型医療施設
(47)	日中のオペレーターの兼務状況（複数回答可）	1. 兼務はしていない 2. 訪問介護員を兼務している 3. 訪問看護師を兼務している 4. 夜間対応型訪問介護の職務を兼務している
(48)	オペレーターの保有資格（複数回答可）	1. 介護福祉士 2. 看護師・准看護師 3. 保健師 4. 社会福祉士 5. 介護支援専門員 6. 医師 7. 訪問介護員（サービス提供責任者の実務3年以上） 8. その他（ ）

3. オペレーターの機能・スキルについて伺います

質問		回答欄			
(49)	オペレーターが利用者情報（住所・連絡先・健康状態等）を把握するための方法（ひとつに○）	1. 通報を受信する機器と同一の機器にて情報を把握 2. 通報を受信する機器とは別の専用機器（タブレット・スマートフォン等）にて情報を把握 3. 紙媒体の利用者ファイルにて把握 4. 事業所内のPCやファイルから検索 5. その他（ ）			
(50)	オペレーターに必要なスキルや情報について該当する欄に○をつけてください	必要	まあ必要	あまり必要でない	必要でない
	1. 医療に関する基礎知識				
	2. 介護に関する知識（介護福祉士レベル）				
	3. 当該利用者へのサービス提供経験				
	4. 利用者の基本情報（住所・連絡先・室内環境等）				
	5. 利用者の状態情報（既往歴・現症、家族、実施記録等）				
	6. コミュニケーション力（傾聴力）				
	7. その他必要と思われるもの	（ ）			

(51) オペレーターの基準・兼務条件で要望することについて伺います（複数回答可）（自由回答）	
資格要件に関する要望	1. ICT等を用いて利用者情報を十分に把握することができる場合に、人材確保、人材の有効活用の観点から資格要件を緩和して欲しい 2. 開設時等において人材確保が困難であるため、極めて利用者が少数な場合等において資格要件を緩和してほしい 3. その他（ ）
時間帯要件に関する要望	4. 日中においても随時訪問介護員の兼務を認めてほしい 5. その他（ ）
兼務要件に関する要望	6. 日中においても併設施設等の職員の兼務を認めてほしい 7. 人材確保、人材の有効活用の観点から、兼務可能な併設施設の種類を拡大してほしい（サービス付き高齢者向け住宅、クリニック等） 8. その他（ ）
集約要件に関する要望	9. 随時対応サービスの集約について、現状の夜間に加え日中も認めてほしい 10. その他（ ）

V. 介護・医療連携推進会議について伺います。

質問		回答欄		
(52)	直近の開催日と次回 の開催予定	1. 直近開催日 平成（ ）年（ ）月（ ）日 2. 次回開催予定 平成（ ）年（ ）月頃 3. 開催していない → 開催していない理由 （ ）		
(53)	直近の会議に参加 した機関・委員 （複数回答可）	1. 利用者または利用者家族 2. 地域住民の代表者（町内会役員、民生委員、老人クラブ代表者等） 3. 地域の医師 4. 3. 以外の地域の医療関係者 5. 当該サービスに知見を有する者（高齢者福祉や認知症ケアに携わっている者等） 6. 市町村の職員 7. 当該事業所を管轄する地域包括支援センターの職員 8. 関わりのあるケアマネジャー 9. 関わりのあるサービス事業者 10. その他（ ）		
(54)	直近の会議の開催 場所 （複数回答可）	1. 事業所内の会議室等 2. 事業所を運営する法人の会議室等 3. 地域包括支援センター内の会議室等 4. 保険者の管轄する会議室（市区町村庁舎会議室等） 5. 民間の貸会議室等 6. その他（ ）		
(55)	直近の会議の開催 所要時間 （ひとつに○）	1. 30分未満 2. 30分以上1時間未満 3. 1時間以上2時間未満 4. 2時間以上		
(56)	(56)－1 貴事業所の主催する 介護・医療推進会議 の内容で該当するもの に○をつけてください （複数回答可）		(56)－1 介護・医療連携推 進会議の内容	(56)－2 サービス担当者会議 等の内容
		1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の説明		
		2. 利用者数（新規人数・終了人数）、訪問回数など の実績報告		
		3. 利用者依頼先（ケアマネジャー）の報告		

(56)ー2 サービス担当者会議等の内容で該当するものに○をつけてください (複数回答可)	4. 利用者の状態・状況報告			
	5. 利用者・家族からの報告			
	6. 事故・苦情報告			
	7. 訪問看護利用者に関する医師・医療機関の意見			
	8. 行政への報告			
	9. 行政からの意見			
	10. 事業所の自己評価に対する協議・チェック			
	11. サービス提供回数の見直し			
	12. その他 ()			
(57)	介護・医療連携推進会議の役割や意義の捉えかた (複数回答可)	1. 地域の関係各所への情報提供の場として捉えている 2. ケアマネジャーや医療機関へのサービスの周知の場と捉えている 3. ケアプランの見直し等の提案の場として捉えている 4. 事業運営について外部からの評価を得る場であると捉えている 5. 内容が他の会議等と重複しているため、役割や意義はあまり感じない 6. その他 ()		
(58)	介護・医療連携推進会議を実施するにあたり、課題と感ずること (複数回答可)	1. 多方面からの出席者のスケジュール調整に苦慮している 2. 事業所にスペースがないので会場の確保に苦慮する 3. 利用者の状況報告や計画見直しは、サービス担当者会議等の実施内容と重複している 4. 出席するメンバーによっては、当会議を有効と感じてもらえない人がいる 5. 利用者や家族の出席により、議論できる内容が制限される 6. 利用者や家族の出席により、情報の守秘が保たれにくくなる 7. 市町村へ毎月報告している内容と多くの情報が重なっている 8. その他 ()		

VI. 職員の確保、体制の確保について伺います。

質問		回答欄		
以下の項目について貴事業所では体制確保ができていますか？該当する欄に○をつけてください		確保できている	まあ確保できている	確保に苦勞している
(59)	日中の訪問体制の確保			
(60)	ピークタイム（朝食・夕食時）の訪問体制の確保			
(61)	夜間・早朝の訪問体制の確保			
(62)	深夜の訪問体制の確保			
(63)	オペレーターの職員体制の確保			
(64)	看護職員の確保			
(65)	訪問体制をどのように構築していますか（ひとつに○）	1. 既存の訪問介護事業所等の人材のみで構成している 2. 既存の訪問介護事業所等の人材をベースに、法人内事業所との兼務職員にて体制を組んでいる 3. 既存の訪問介護事業所等人材をベースに、不足が予想される分について新たに人材（同一法人からの異動を含む）を追加している 4. 定期巡回・随時対応サービス事業所として新たに人材（同一法人からの異動を含む）を追加している 5. その他 ()		

(66)	人材の <u>採用</u> について事業所で工夫・努力していること (複数回答可)	1. 社員紹介制度による採用 (有資格者等) 2. 他施設・他事業からの異動 3. 会社 (事業) 説明会の実施 4. 入社時に準備金や手当を支給 5. 外国人の採用対策を講じている 6. 地方からの採用対策を講じている 7. その他 ()
(67)	人材の <u>育成</u> について事業所で工夫・努力していること (複数回答可)	1. 資格取得 (介護福祉士等) のための社内養成研修・制度 2. OJT 等による研修 3. 認知症実践者研修の受講推進 4. 外部研修会などへの積極的参加 5. その他 ()

Ⅶ. 当該サービスの周知と普及促進について伺います。

質問		回答欄
(68)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの正確な理解の向上に向けて課題と感じていること (複数回答可)	1. ケアマネジャーの理解向上 2. 地域包括支援センターの理解向上 3. 利用者・利用者家族の理解向上 4. 訪問看護事業所の理解向上 5. 医療機関の協力と理解向上 6. 行政 (保険者) の協力と理解向上 7. その他 ()
(69)	サービスに対する理解度向上を目指して具体的に活動していること、もしくは検討している具体策がありましたらお聞かせください (自由回答)	

Ⅷ. 貴事業所の今後の事業の方向性について伺います。

質問		回答欄
(70)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の今後の方向性はどのように考えていますか (ひとつに○)	1. 積極的に事業を推進していく 2. 現状を維持していく 3. 事業規模を縮小 (事業を廃止) する予定 4. わからない 5. その他 ()
(71)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の普及促進に向けて必要だと思われることがありましたらお聞かせください (自由回答)	

アンケートご協力ありがとうございました。